

名張川 身近な生き物ガイドマップ (魚編)



三重県伊賀建設事務所

平成20年2月作成

名張川の概況

名張川は、三重・奈良県境の布引山地・高見山地に水源を発し、青蓮寺川、宇陀川などの支川を合わせ木津川に合流する、幹川流路延長62km、流域面積623km²の一級河川です。流域は三重県、奈良県、京都府の1府2県にまたがり、全流域面積のうち山地が約95%を占めています。

河川水辺の国勢調査について

伊賀建設事務所では名張川に住んでいる生き物を調べる「河川水辺の国勢調査」を実施しています。これまでに名張川で平成11、16、19年度の3回、魚類調査を実施したところ、ムギツク、カマツカ、シマドジョウ、カワヨシノボリなど合計17種が確認されました。このなかにはスナヤツメ、アジメドジョウ、アカザなど近年生息数が減少している貴重な魚が含まれています。

名張川で確認された魚



カワムツ

上流から中流の植物の陰などに生息する。単調な環境の川には少ない。



ムギツク

上流から中流の植物の陰などに生息する。三重県内では名張川を含む木津川流域にしか生息しない。



カマツカ

中流から下流の砂の中に隠れて生息する。口が下向きについて砂や泥の中の餌を食べる。



ズナガゴイ

ゆるやかな流れを好む。底付近にいて時々砂の中にもぐる。日中は水面近くまで浮き上がることもあ



アジメドジョウ

上流から中流の石の間に生息する。岩の表面に付着している藻類を食べる。



アカザ

上流から中流の、瀬の石の下や間に生息する。ひれの棘を不用意につかむと刺されて痛い。

名張川の河川環境

～早瀬～

流れが速く、白く波立っている早瀬では、川底の浮き石に隠れているアカザや、泳ぐ力が強いアユ、カワムツなどが確認されています。

～淵～

淵には2m以上の水深があり、流れの緩やかな場所を好むギギなどが確認されています。また周囲に砂がたまっているところでは、スナヤツメ、カマツカなども確認されています。

～平瀬～

平瀬では様々な環境に応じた種が確認されています。また藻類のついた石が多く、藻類を食べるアユやアシメドジョウなどが確認されています。



名張川で確認された魚種一覧（平成19年度調査）

種名	環境省	三重県	伊 賀	確認した環境		
				早瀬	平瀬	M型淵
スナヤツメ	VU	VU	VU			
オイカワ						
カワムツ						
ヌマムツ						
アブラハヤ						
ムギツク						
タモロコ						
カマツカ						
ズナガニゴイ		EN	DD			
ドジョウ			NT			
アジメドジョウ	VU	EN	CR			
シマドジョウ						
ギギ						
アカザ	VU	VU	VU			
アユ						
トウヨシノボリ						
カワヨシノボリ						

※■は確認された環境

重要な種などの指定状況

環境省：レッドリスト-汽水・淡水魚類- 2007.8.3

三重県：三重県レッドデータブック 2005 動物 2006.3

伊 賀：伊賀のレッドデータブック～伊賀の希少動植物種～ 2006.7.23

CR：絶滅危惧IA類

EN：絶滅危惧IB類

VU：絶滅危惧II類

NT：準絶滅危惧

DD：情報不足



三重県伊賀建設事務所

〒518-8533

伊賀市四十九町2802 伊賀庁舎6階

電話番号：0595-24-8200

ファックス：0595-24-8241

e-mail：tkenset@pref.mie.jp